

No.	評価項目	評価内容（例示）	点数
<b>I. 地域の教育・保育ニーズへの適合性</b>			
1	待機（保留）児童解消への貢献度	対象施設の直近5年間の受入児童充足率による解消見込みを評価する。	40
2	多様な保育ニーズ（障がい児保育）への対応	障がい（医療的ケア含む）のある児童に対する加配保育の実践状況を評価する。	
3	保護者の多様な働き方への対応	保護者の多様な働き方に対応するための実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間外保育事業（延長保育や休日保育）</li> <li>・ 放課後児童健全育成事業（通称「学童クラブ」）</li> <li>・ 一時預かり（余裕活用型含む）事業</li> <li>・ 病児保育事業</li> <li>・ 利用者支援事業（子育て支援相談機関分）</li> <li>・ 乳児等通園支援事業（通称「こども誰でも通園制度」）</li> <li>・ 通園送迎バス事業</li> </ul>	
<b>II. 事業計画の妥当性</b>			
4	既存施設の安全性・機能向上への対応	昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた建物（旧耐震基準）に対する建て替え・改修の必要性。	25
5	整備計画の予定の有無	R7年度以前に施設整備計画が予定されており、町に事前相談や実施承諾があっていたか。	
<b>III. 事業の質・付加価値</b>			
6	教育カリキュラムの実施状況	直近の年度において、地域の特性やニーズを踏まえた特色ある教育・保育内容の提供と町の幼保小架け橋カリキュラムに沿った保育を提供しているか。	25
7	第三者評価の受審状況	過去5年度以内に「福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」等に沿って、第三者機関による評価を受審しているか。	
8	施設・設備の安全性、快適性、機能性向上	町の「保育の質」向上に向けた整備であるか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士のノンコンタクトタイムスペース確保</li> <li>・ 障がいのある児童を受け入れるためのバリアフリー（環境整備）</li> <li>・ 照明器具のLED化</li> <li>・ トイレの湿式から乾式への変更</li> <li>・ トイレ機具の洋式化</li> <li>・ 防犯対策の強化に係る整備</li> <li>・ 防音壁の設置</li> </ul>	
<b>IV. 事業実施の熱意</b>			
9	保育へ熱意と応募の動機	本施設整備事業への応募の動機	10